

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市澁川町三丁目5番地7
(澁川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



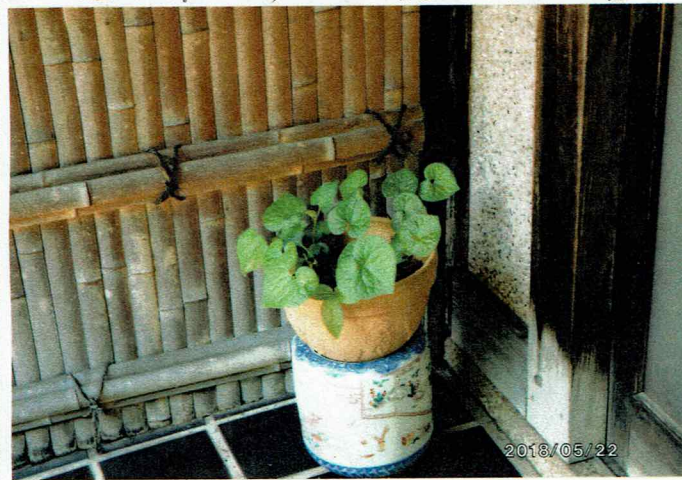
2018/05/22

玉突き、象プラスチック。
一見何のつなかりもなさそう
な三語だが、この三語で語られ
る歴史的事実がある。
ポリマーの球はかつて象牙で
こしらえていたがそれでは入手
が難しい上高くて。
一八六三年米国のポリマー工業の
製造会社が象牙に代わる素材
を発明した人間に大金を支払
うという広告を打った。
象シヨン・ウェズリ・ハイアトで

歴史と文化を
迎える伝統まちづくり



2018/05/22



2018/05/22

植物由来のセル
ロースからセルロ
イドを合成、賞金
は逃したさうだが
これが初の合成
プラスチックのニ
て世界を変えて
いく、今や世界で
年間生産産これ
百プラスチックは
約四億トン。
ペントホルムが
医療機器、シ
ト機まで安価で
丈夫なプラスチック
存してはもはや
人間の生活は
成り立たぬ問題
もある。

ありゆる海で細かく
作られたマイクロプラ
стикが確認されて
いる。
政財連合がストマー
使った捨てたのフ
プラスチック食器の禁止
ペントホルム回収の
格化を検討している。
プラスチックがカ
まひ分解するの約
百五十年と聞けば一
も早い止むかいる。
途上国への回収ス
援助も欠かせない。
プラスチック海入
ながさる。
対策を急ぐればその
不吉な玉突き球
は人間のヒミ
ね返さる。

▲入口玄関には絶滅危惧種1つタバコイ植物。
どうたん亭
は市有形
文化財
建築物
は切妻
カ
四月は
ヒ
おん
つじか
すばしく
会館から
数の見物
客が拝観
にくる。



2018/05/22

どうたん亭の中庭
国登録有形文化財
外せ願わどうたん亭



2018/05/22